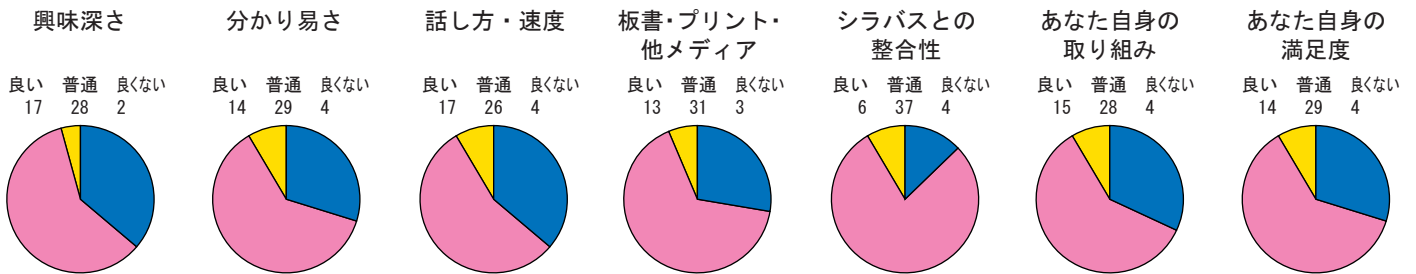


平成15年度1学期 生物学類授業評価

「専門語学(英語)Ⅰ」

回答者数：47名 履修申請生物学類生数：84名 (回答率55%)



良かった点

- 動物生理学に関する概念や、周辺領域とのかかわりなどを知ることができる。また、生物学に関する基礎的な英単語や表現を学べる。
- W先生の話が面白かったし、聞き取りやすかった。
- 生物学に関係ある教材をつかってくれたのは良かった。
- 扱った題材に最近のものがあり、それが非常に興味深かった。マイナス評価がいくつかありますが、それは先生の問題でなく自分の問題なので客観的には普通だとおもいます。
- 実践的な英語を学べたと思う。意欲のある人には非常に良い授業である。
- たどたどしい英語であっても、丁寧に聞いてくれ、意見をかえしてくれた。
- 英語。
- 発表者に対するT先生の意見が、聞いている分には面白かったです。こういった授業形式の良いと思いました。
- みなが毎日どこかしらの訳を担当するため、予習を欠かさず行えました。
- 英語で会話することができるし、何よりみんなが生物学に関係する話題についてどんなことを考えているのかが分かってよかった。英語の聞き取りが上手になった。
- とてもよいシステムだと思う。自分や他人の勉強にとってもなった。発表の方法や意見を述べる方法を学んだ。英単語を調べて読んでくる授業より、読解力と速読能力がついたと思う。途中で成績を開示していただいたのが良かった。
- 授業の方式がおもしろく、自分たちでやるから勉強もするようになった。いろいろな方面の事を聞けるのも良い。
- 授業の方式がおもしろく、自分たちでやるから勉強もするようになった。いろいろな方面の事を聞けるのも良い。
- 学生のやる気を問うている点。
- 教材の内容は生物学に関連したもので、興味深いものでした。専門用語を英文のなかで触れる機会を与えてくれた点に感謝しています。
- 生物学との関連性。プレゼンの準備時の先生の協力体制。
- 自分で英語の論文をよむことで、その内容に関する理解も深まった。

改善すべき点

- 特になし。
- 調べてくると教官が行ったところのフォローが行われなかったのは少し不満。
- 英検落ちるくらいできない人にはちょっと量的にハードでした。もう少し減らすか、あるいは力に応じた課題の出し方をして欲しいです。(英語できない奴が悪いと言われればそれまでなのですが、あくまで希望ということで)
- 学生の声あまり聞こえない。
- 意欲のない人にとっては、あまり身にならないと思う。
- 教官が学生に対して甘い。
- 毎回訳をしていだけであまりおもしろくない。
- 個人的にはもっと厳しくしてほしい。英語力は厳しい状況に身を置かなければつかないであろう。生徒が反対してもやれといえばみんなやると思います。
- 高校の英語のような進行はどうかと思われました
- ただ英文を訳すだけだったので、あまり効果的でなかったような気がします。
- なんだかもっと会話しやすい雰囲気になればいいと思う。生徒の質問に対して先生が答えるだけの授業じゃ面白みに欠ける。
- 特になし。
- これは、学生側の問題ですが、あまりきちんと読めていない人とかけっこのいたので、そういうのがなくなれば、もっとおもしろいものになったのと思いました。
- 淡々と日本語訳を当てられた生徒がしていく形式だったので、発展性のない授業であった気がします。
- 特にありません。

担当教官のコメント

- 多様な意見があるようで統一した対応はなかなか難しいと感じました。しかし一つ一つの意見を参考にしてよく吟味し、多くの人が満足できるような授業の内容や方法を考えていきたいと思っています。
- 私のコメントもアドリブですので、大変緊張感のある授業ができて、よかったと思います。